

第 16 回平成医政塾講演会要旨

平成 21 年 3 月 19 日 (土)

医師会と政治の係わりについて

鈴木 棟一先生

永田町ウオチャ - である鈴木氏ならではの多くの政治家の表裏の話が満載されています。最初に、医師会が、小泉政権全盛期に、植松・伯井コンビで、政治的にどれだけ健闘したかの紹介がありました。その後、自民党の支持団体である医師会が少しずつ変化を見せている様子を茨城県医師会の対応などを例示して、紹介しています。また自民党政治では、今回の政局に至るまでの過程で、小泉政治の在り方や、小泉元総理を考えるにあたってのエピソード、家族背景などの紹介がありました。続いて、麻生総理大臣を考えるにあつたの、出身、家族背景、政治家デビュー - までのエピソードなど、麻生総理を理解するに、多くの示唆に溢れるお話がありました。また最近では、政権を取るかも知れない、民主党の小沢元代表の最近の事件背景 (西松問題) の考え方、その裏話、さらには、小沢氏本人を理解する為の生い立ち、政治的経歴など、普段ではとても、窺い知れないお話を気さくな口調でお話しいただきました。物事の本質を知るには、まず、その周辺、動かしている人物の歴史に沿って考えれば、次の行動パターンもある程度予測でき、医師会にとっても、政治活動を如何に行えばよいかわかるのではないかと示唆していただいているようなお話のように、考えられました。要旨では、とても窺い知ることのできない内容は全文に記されています。是非、全文、お読みいただくことを、お勧めします。